



耐久高等学校同窓会報

耐久



NO. 8

梧陵濱口君碑

勝安芳 撰文並題額

勝海舟が濱口梧陵を讃えた碑が  
広八幡宮境内に建てられている。

(和歌山県広川町)

# 創立150周年記念事業の概要



## ① 記念事業

- ・創立者のブロンズ像建立 (木下 繁作)
- ・シンボルツリー (なぎの木) 植樹
- ・玄関・前庭の整備と緑化
- ・正門周辺の改修 (インターロッキング化)
- ・懸賞論文募集 (全国へ発信)
- ・国際理解講演フォーラム (平成14年10月)

## ② 記念式典 (平成14年11月2日)

- ・記念講演 他

## ③ 記念展示

- ・各種資料展示  
一創立者及び諸先輩展一
- ・150年の歩み

## ④ 教育活動の振興・充実

- ・耐久校史 (150年) の刊行
- ・図書 (蔵書) の充実
- ・先輩による授業 (シリーズ的に)
- ・クラブ活動の支援
- ・芸術鑑賞の支援 (平成14年7月)
- ・文化祭行事の支援 (平成14年9月)

## ⑤ 同窓会の活性

- ・同窓会館設立基金
- ・同窓会 (OB・OG) 文庫の蒐集と充実
- ・同窓生の名簿ファイルの整理

## ⑥ 地域社会への貢献と連携

- ・前夜祭行事 (平成14年11月1日)
- ・記念コンサート
- ・一般公開 (事業公開一11月1・2・3日)

## 浜口梧陵翁の記念碑を訪ねて

校長 藪添泰弘

同窓生の皆様には平素から本校教育の発展のため、格段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて本年一月十日、創立一五〇周年記念事業実行委員会を発足していただき、以来、上野寛委員長のご指導のもと、精力的に会合が重ねられ、前庭の整備及び浜口梧陵翁のブロンズ像建立など、様々な記念事業について御検討いただいておりますことを学校といたしまして、本当に嬉しくまた心強く感じております。

こうした中で、私は折に触れ、職員ともども広八幡宮境内に建立されている梧陵翁の記念碑を訪ねています。この碑文は、勝海舟の撰によるものであり、その中で、「幕府が鎖国を解いて外国と交わりを開くにあたって、梧陵は、現代最大課題は外国との交際であり、その基になるのは国の考えを誠心誠意伝え、それでもうまくいかなければあるいは戦いを交えなければならぬかも知れないが、その後、必ず仲直りすることが大事だと述べた。」明治十七年五月決心して欧米の航海に出、前々からの志を遂げようと考えられた。本当にその気持ちは、日本国の国会開設の

大事な時が迫り、その為にも、諸外国の政治や風俗を親しく自身の目で確かめ、国の為に役立てようとの考えからであった。君の学問は、現代の世の中で最も必要で大事なものを根幹にして学ばれた。私は若い頃、君と共に剣道の技を一緒に学び、それ以来およそ四十年となる。それを思うと、うっとりして、まるで夢のようである。」と梧陵翁の生涯や業績の数々を記しています。

この碑文を読む度に、私は梧陵翁が、いかにスケールの大きな人物であり、高邁な人格の持ち主であったかが偲ばれますし、また勝海舟との親交の深さが如何ほどであったかをも感じるものであります。

創立者に想いを致すことにより、本校の連綿たる歴史と伝統を改めて想起し、故郷に対する深い愛着と大いなる誇り、自信を持つとともに、梧陵翁の崇高な志を受け継ぐ若者を育成していくことの必要性と責任を痛感するものでございます。

(注) 浜口梧陵と勝海舟は共に佐久間象山の門弟であった)

和洋酒・焙煎コーヒー豆  
リカーショップ

タナベ

田辺友子 (高7期)

湯浅大宮通 電話 62-2115



小川産業株式会社

代表取締役社長

小川 禎一 (高4期)

奈良市学園緑ヶ丘2丁目11-11 TEL. (0742) 44 5072

一 有田の地酒 一

くまのみら醸造元

高垣酒造場

高垣 淳一 (高35期)

金屋町小川 TEL.0737-34-2109(代)

平成十二年度卒業式

去る三月一日(木) 第五十三回全日制(三〇七名) 第四五回定時制(九名)の卒業式が、昼夜にわけて執り行われました。

巣立っていく卒業生に対し、教添泰弘校長は、「感謝の気持ちをお忘れず謙虚な姿勢で努力を重ねてほしい。」

「激しく変化する現代社会に対応しながら、常に生涯学習の気概を持ちつづけ自分自身の力で人生を切り開いてほしい。」と話され、最後に「諸君一人ひとりの力を、世界平和・人類の幸福のために活かしてもらいたい。」との饒の言葉(はなはだ)を贈られました。

また、卒業生代表の田村由希さんは、答辞のなかで、「新しい世紀の最初の卒業生であることに誇りをもち、立派な大人になるためにさらに努力することを誓います。」と力強く決意を述べ、厳粛ながらも感慨深い、素晴らしい卒業式となりました。

定時制の祝詞で橋本佳己同窓会長は、「今、諸君が手にした証書は永々と続く耐久卒業の証であり、その一番に誇りと責任を感じて欲しい。」の言葉は印象的だった。

平成十三年度入学式

四月十日(火) 平成十三年度全日制入学式が、本校体育館にて挙行され、新入生二九五名(普通科一五二名・グローバル探究科四二名)が入学を許可されました。その結果、四月十日現在、全校生徒は九二七名(男子四六〇名・女子四六七名)となりました。

教添校長は式辞の中で、「まもなく創立百五十周年を迎えようとしている歴史と伝統を持つこの耐久高校で学ぶことに、大きな喜びと誇りを持って欲しい。」「高校三年間という一生を方向づける大切な時期を、それぞれの自覚と責任のもと、有意義に過ごして欲しい。」と述べられました。



進路概況について

進学については、大学の「二極化」が進み、入りやすい大学と人気のある大学の差が顕著になっている。就職については、今なお厳しい状況が続いている。そういった状況の中で、今春卒業生三〇八名はよく健闘した。国立大学の合格者数は、京大をはじめ四一名と昨年より増加し、全体の合格率も上がった。

(1) 進路状況 (平成13年3月卒業生)

Table with columns for '進学' (4-year university, short-term university, vocational) and '就職' (public servant, business, etc.), with rows for male, female, and total counts.

(2) 合格状況 (平成13年3月卒業生と過年度生)

Table showing admission statistics for 4-year and short-term universities, categorized by gender and university type (national, public, private).

主な合格先(延べ数)

- List of university names and counts, including National University of Osaka Prefecture, Kansai University, and various private universities like Keio and Waseda.

Advertisement for UASA (株式会社ユアサ) and FUSEN (扇屋電機産業株式会社) with contact information and a slogan: 'みんなの力で成功させよう、耐久創立150周年事業'.

# 関東・関西・和歌山耐久会 創立150周年にむけて始動!

## 関東耐久会

会長 高居 富一 (一中昭17卒)  
 副会長 丸山 昌子 (高女昭21卒)  
 副会長 九鬼 利郎 (高校昭28卒)  
 副会長 大野 博司 (高校昭32卒)

関東耐久会は二月五日、

和歌山県東京事務所に於て、  
 長谷豊展 (高36年卒・当時所長)・  
 神山定夫 (一中11年卒・県人会副  
 会長)両氏他のご配慮を頂き、  
 教添校長・二角PTA会長・  
 橋本同窓会長・楠山事務長  
 も同席のもと、関東地区耐  
 久会の再興について、更に  
 二月十四日には再度世話人  
 会を開催され顧問に神山定  
 夫氏他の役員を選出し東京  
 同窓会員の絆の強化と一五  
 〇周年にむけての体制がた  
 めを約された。又三月二十  
 四日高居会長が態々母校を  
 訪問されました。

(当日出席者)

神山 定夫 (一中昭17年卒)  
 高居 富一 (一中昭17年卒)  
 川口 静彦 (高27年卒)  
 池端 義夫 (高27年卒)  
 五百崎博己 (高27年卒)  
 木内 大夫 (一中2年修了)  
 九鬼 利郎 (高28年卒)



## 和歌山耐久会

会長 北 一視 (高校昭25卒)  
 副会長 角田 弘子 (高女昭17卒)  
 副会長 中山 貞雄 (高校昭27卒)  
 副会長 小畑 英三 (高校昭41卒)  
 副会長 山田いすず (高校昭41卒)

和歌山支部では寺柚良二・平

井康雄両氏の呼びかけで三月二  
 十三日、第一回世話人会を市内  
 アバローム紀の国に十六名の参  
 加のもと開催、本部からは教添  
 泰弘学校長と橋本佳巳同窓会長  
 が出席。それぞれ学校の近況と  
 一五〇周年のとりくみ等につい  
 て報告があり、協力を要請し  
 た。議題としては、会則審議に  
 はじまり、今後の支部のあり方  
 と活動について討議され、本日  
 出席の会員が世話人(幹事)と  
 なる旨を約し散会した。

(当日出席者)

玉置 敬介 (一中昭11年卒)  
 土岐 政治 (一中昭18年卒)  
 高垣 邦雄 (一中昭20年卒)  
 寺柚 良二 (一中昭23年卒)  
 角田 弘子 (高女昭17年卒)

◇九月一日に役員会を開催し、  
 各期の幹事を多数選出した。



児島 貞代 (高女昭21年卒)  
 北 一視 (高校昭25年卒)  
 平井 康雄 (高校昭26年卒)  
 林 美喜男 (高校昭26年卒)  
 西廣 房治 (高校昭35年卒)  
 前 晴夫 (高校昭36年卒)  
 小畑 英三 (高校昭41年卒)  
 山田いすず (高校昭41年卒)  
 織田 俊彦 (高校昭50年卒)  
 峠原 和明 (高校昭56年卒)

## 関東耐久会 設立準備委員会

とき 十三年十月十三日(土) 十一時  
 ところ アルカディア市ヶ谷(私学芸館)  
 会費 六、〇〇〇円  
 講演 「地震予知の現状」津村建四朗氏

## 和歌山耐久会 総会

とき 十三年十月七日(日) 正午  
 ところ サンピア和歌山  
 会費 六、〇〇〇円  
 ◎会員みなさんのご出席を!

カラープリント・APS・スピード仕上・各種記念写真・出張撮影



湯浅町湯浅1852 (ユピア1F) TEL (FAX) 63-2170



総合建設業  
株式会社 溝畑組

代表取締役 溝畑隆男

本社 石田郡広川町広416-1 TEL.0737-63-3191代



〒640-8221 和歌山市湊紺屋町2丁目30番地(市民会館前)  
Tel.073-423-6950 Fax.073-423-6955

コクヨ製品と印刷

### 橋本印刷所

湯浅町湯浅993 TEL.62-2343 FAX 63-5235

美術印刷・紙器・果実包装紙

### 辻本印刷所

石田市新堂208の1 TEL.(0737)82-4444・82-5400  
FAX (0737)83-6006

創立150周年のことは、事務局の方にお問合わせ下さい。(TEL.0737-62-4148)

関西耐久会

会長 阪本 禎三(旧中昭17卒)
副会長 近藤 和子(高女昭21卒)
副会長 小浦 務(高校昭26卒)
副会長 横山 亨(高校昭37卒)

京阪神在住の関西耐久会では
六月九日、小浦 務・荒木彰一両
氏の呼びかけに二十四名が南海
サウスタワー「鳳苑」に集い第
一回世話人会を開催、本部から
は藪添泰弘学校長、それに橋本
佳巳同窓会長も同席し、学校の
現況と一五〇周年に絡んでの説
明を行い、支部再興への協力を
要請した。

今後、各期毎の世話方を人選
し、縦の絆を強化すべく準備を
進めている。

(当日出席者)
阪本 禎三(旧中35期)
桑田 公文(旧中38期)



- List of names and graduation years: 古川 功(旧中39期), 松永美代子(高女15期), 川嶋 稔恵(高女25期), 近藤 和子(高女25期), 田村知恵子(高女25期), 小浦 務(高校3期), 森 雄三(高校3期), 川口 昌彦(高校4期), 中邑 信五(高校4期), 松野 実(高校4期), 宮井 昭治(高校4期), 西脇 孝(高校5期), 荒木 彰一(高校6期), 尾崎 公昭(高校6期), 岩崎 孝夫(高校7期), 梅本 正之(高校7期), 北浦萬里子(高校7期), 土岐 康二(高校7期), 青石 弘(高校8期), 檜垣 洸(高校8期), 宮崎 雄次(高校10期), 横山 亨(高校14期)

創立一五〇周年記念事業実行委員会(専門部)

一、総務部(担当:同窓会・学校)

- 部長 辻岡俊明(学)
副部长 白井敏之(学)
部員 玉置 淳(学)
和泉千恵子(同)
太田 勲(同)
宮井慶三(同)

二、記念式典部(担当:学校)

- 部長 立野全日制教頭(学)
副部长 杉本定時制教頭(学)
部員 中山浩樹(学)
市ノ瀬伊久男、打井幹人、内芝多和、岡山恭子、奥野昌紀、楠木博司、杉村明信、中西満寿美、那須悦代、西萩直世、平井佳子、堀 亜希子、水野哲男、山崎幹夫

三、記念事業部(担当:PTA・学校)

- 部長 古川友子(P)
副部长 坂野 清(P)
部員 佐原洋一(P)
PTA役員・部長・副部长・評議員

(職員) 上野真吾、垣端千代、栗山昌子、小坂雅彦、小林紀子、郷間美有紀、高津 亮、玉置 弘、富雅子、橋本厚洋、馬場茂隆、前山明久、増元貞夫、丸谷かの、村上美保子、吉田尚史

副部長 下野憲英

- 部員 吉田元重
岩崎好宏(同)、池尻寿夫(同)
千川益生(同)、中内京子(同)
平松正彦(同)、福永幸子(同)
法眼貞子(同)
(職員) 生駒亮司、菊池貴子、中 伸一、中塚一郎、松本泰幸

五、財務部(担当:同窓会)

- 部長 平井康雄(同)
副部长 楠山事務長(同)
坂口計夫(同)
前勢カネ(同)
部員 竹林康輔(同)
同窓会各期幹事

六、記念誌部(担当:同窓会・学校)

- 部長 齊藤春太郎(同)
副部长 伏木富紀子(同)
部員 清水康夫(同)
清水健一(学)
(職員) 石井茂野、井原茂、大浦きぬ代、小池修二、小池 実、戸川しをり、宮崎裕之

七、広報部(担当:PTA・学校)

- 部長 川口裕幸(学)
副部长 畑 安博(P)
部員 池田尚弘(学)
PTA三役
(職員) 岩崎浩久、小西庸仁、濱田澄夫

四、記念展示部(担当:同窓会・学校)

- 部長 長谷康富
副部长 高垣源徳



NAKAHIRA

中平建設株式会社

代表取締役 中平 武治

■本社/和歌山県有田郡湯浅町湯浅1429番地 TEL/0737-64-1717(代)
■和歌山支店/和歌山市毛見112-1番地 TEL/073-446-2077

連載

# 浜口 梧陵 (3)

垣内 貞

一夜にして壊滅的な打撃を受けた広村の惨状は目を覆わんばかりで、倒壊流出した家屋や漁舟が道を塞ぎ、田地を覆い、土砂が堆積して荒蕪の地となり、足を踏み入れるのも容易なことではなかった。

一方、避難所は村の高台にある神社や寺院の境内に設けられたが、地上に蕨を敷いただけののもので、雨露を凌ぐこともできず、厳寒が迫りつつある時季で、その上、強い余震が続き、避難民の不安と恐怖はその極に達していた。むしろ梧陵の身を挺しての活躍は、これからであつた。

即ち避難民の精神的支柱として、常に温かい励ましを忘れず、焚出しの督励、藩吏に対する救米の交渉、また自から玄米二百俵を拠出寸暇を惜しんで東奔西走の結果、数日間千四百人が飢を凌ぐことができたのであつた。

その後、日を経るととも

## 稲むらの火(3)

漁民には漁舟や漁具を分配し、商人には資金を融通するなど、村の復興に献身的な努力をした。

梧陵はさらに、一族の浜口吉右衛門(東江)と謀り、今後の津波に備えて、安全で安心して住める村づくりの構想を打ち出し、紀州藩

の許可を得て被災後三ヶ月という異例の速さで、防波堤の建設に着手した。

この時、梧陵三十五歳。藩への上申書に「右工事は恐れながら私いかようにも勘弁仕り」と述べ、私財を投じて必ず作り上げるという決意をみなぎらせる。

この工事は、公共的性格が強いにも関わらず、吉右衛門の援助を受けながらも、

殆ど梧陵の私費で賄われている。公共事業として藩の支出に頼っていたら実現しないかも知れない、という梧陵の判断からであろう。

工事は、以前からあつた

高さ約一米の石垣(畠山堤防という)の背後に高さ五米、根幅十七米、天幅三米、全長六百五十米の一大防波堤作りで、堤防強化のために外側二列に二、三十年生の松を、土手には生育したハゼの木、数百株が植樹された。

松は山で自然に生えていた方向をメモし、そのままの状態で植え替えたため、枯れる木は一本もなかった。

ハゼは防潮防風の役目のほか、果実はローソクの原料として収穫され、毎年その収入が村を潤すこととなつた。そこには梧陵の植物の一つ一つの特性を生かし、心を通わせる姿があつた。

さらに、広村の年貢は全



外面には松、内面にはハゼの木

国平均より重く、村人達の日々の生活を圧迫していたため、防波堤の建設に当り、特に年貢の高い上田を堤防の下に埋めてしまった。

工事は職を失った村人四

期に工事が進められたことから、農民達は、年間を通じて安定した収入を得ることが出来るようになった。中には津波の襲来する広村に不安を感じ、離村しようと考えた者もいたが、これらも思い留まり、津波の衝撃で気力の失せた者も平常に復し、勤勉によく働くようになり、村に明るさが甦ってきた。

安政五年(一八五八)十二月工事は一応終る。総従事者延五万六千七百三十六人、支出、銀九十八貫余となつているが、実際にはその約三倍余の金額という。

完成した時の村人の喜びと感激は一入で、期せずして「浜口大明神」の建立が叫ばれた。しかし梧陵に論され止むなく中止となつた。この防波堤が昭和二十一年の南海地震で四米の津波に襲われるも被害は殆んどなかった。

その後、広村は広川町と成つても梧陵の偉業は忘れず、毎年「津波祭」を実施して、その遺徳を偲ぶ。

そして現在、広村堤防は梧陵の墓碑とともに貴重な文化財として、国の史跡に指定されている。



旧中38回

### 旧中38期第14回同級会例会開く

我が同期会は今を去る昭和四十七年九月次の三氏（池永、湯原、市間）の呼びかけにより、湯浅町、駒野旅館において五十六名の出席の上開催されたのが始まりである。以来三十年の間広川、有田市、白浜、和歌山市、大阪市等と開催場所は異なるものの、今年で十四回目（有田市、有田観光ホテル）を数えて今日に至っている。この間第三回と今回第十四回の幹事を務めた者として同期会に対する所感の一端を記してみたいと思う。幹事として一番の関心事は如何にしてどれだけ出席者が得られるかという事である。開催通知を出した後返信を待つ心境、出席の通知を受けたときの喜び、反面体調不良や、病氣療養中のコメント、代筆で欠席通知をくれる重病の友人、年とともに避けられない現実の悲しさに一日も早い快復を祈るばかりである。前回から一年有余の間に三名の友人が鬼籍入り、出席目標を三十名以上としていたが最終的に二十八名の出席となった。六月九日十一時半開会で幹事三名でこの友人を待つ。やあ！げんきか、よく来てくれたなあ！と握手、遅れて参加する一名を除いて先ずは記念写真の撮影にいる。

開会宣言、代表幹事としてレジメにより経過報告、欠席の友人からの短信の紹介、同窓会報耐久を配布、来年母校創立百五十周年の記念事業実行委員会の発足と記念事業構想の概要を説明、38期生として協力を願った。

私達が栄えある耐久中学校に入学したのは昭和十五年年度で、在学中に創立九十年を迎え、記念事業の一つに全校生徒参加の津木の山林作業をした思い出がある。以来六十年の歲月と世の変遷の中に今日があることを思うと感慨ひとしおなるものを感じる。

生存されていた唯一の恩師、井本清三郎先生（四条吸市）の訃報に接し、当時の先生方の霊と二十七名の級友の霊に黙祷を捧げ、お互いの健康を祝して乾杯と



旧中38期 有田観光ホテル 2001.6.9

後は積もる話に時を忘れ、おいお前、あの時は懐かしい思い出に花が咲いた。又一人の発案で五年生時、学徒動員の地、相生市を訪る計画案が提案され有志の参加が決定するという和氣藹々の中で時を過ごした。最後に芝本吉庸（旧姓 竹中久春）君の指揮により当時の校歌（たたふる波もなきの海）応援歌（鍛えし腕示すは今ぞ）三一会歌（黒潮たぎる紀伊の海）を斉唱した後、次回開催世話役の幹事を選び、お互い今日ある命を大切に、この例会が末永く続けられることを祈念して再会を約し万歳三唱の後散会した次第である。

文責 池尻和男



旧中39回

### 学徒動員の跡を訪ねて

我々旧中39期の同窓会は、兵庫相生市で開かれた。この地は、当時の播磨造船所、現在の石川島播磨重工業の城下町で、戦局逼迫の中発令された「学徒動員令」によって、私達四年生が、五年生と共に送られて、終戦前年の昭和十九年から翌年にかけて「紅の血を燃やした」土地である。

空腹と労働、集団赤痢の発生にも見舞われ、此処で心の疵を受けた級友もいることであり、参加者の数が心配されたが、桜も散った四月下旬、バスをチャーターして出発した県下各地から二十二名に加えて、大阪からの五名、関東からはるばると石井君、地元神戸の崎山君、姫路の岡本君が現地で合流して合計三十名の顔が揃い、世話人一同大きな喜びを感じた。

この日、まず幹事代表の田中君が事前に見学を依頼してくれていた工場見学に向かった。一室で工場の現況説明を受けた後、バスで構内を案内してもらったが半世紀余の歳月を経ては、記憶にあった建物も見当らず、白髪の浦島太郎達の質問攻めに、案内の労をとって下さった総務課の人達も「その頃、私達生ま

れてませんので…」と苦笑する始末だった。しかし、背後になんとなく見覚えのある低い峠をひかえた場所で、私は思わず立ち上がっていた。今回のパンフレットに故斎藤先生の峠から見下したスケッチの一枚を印刷させてもらったが、それと寸分違わぬ光景が眼前にあった。古ぼけた二つのドックとその向うの首をかしげたクレーン、穏やかな海とこれを両側から抱える山と岬の佇まい。一気に半世紀の昔が甦って、懐かしさが込み上げた。工場を一巡したバスは、それぞれの想いを乗せて、今宵の宿・懇親会場の「相生荘」へ向かった。

翌日は、俄雨に祟られたが、車中から竜野の古い町並みや『赤とんぼ』の歌碑を見学し、姫路城にも立ち寄って無事帰宅した。

垣内惇三記



故斎藤勇吉教諭画



高女23期

歴史とロマンの湯  
湯の峯温泉へ

23期生同窓会は、四月二十五日・六日、有田市の皆さんのお骨折で、湯の峯温泉で開催。バスでの計画は初めてなので、一人でも多くの参加をと、随分お気遣い下さったようです。

朝からの雨も出発時には止んで、久しぶりに出会う友の楽しそうな笑い声を乗せて、バスは中辺路を一路湯の峯へ向かいました。新緑の輝きに満ちた奥熊野は、また格別の風情。熊野古道の面影を偲びつつ、旅館に着いたのは五時頃でした。



高女23期 湯の峯温泉 2001. 4. 25・26

六時、くつろいだ姿で大広間に集合。幹事さんから返信を待ちわび、当日までドキドキワクワクの連続だった事。世話人の気持ちに身が沁みたま事等、経過報告を兼ねた挨拶があり、一致協力でお世話下さった方々の熱意に頭の下がる思いでした。

宴会の場では、カラオケ、詩吟、踊り等とぎれる事なく、また有田市グループからは、三味線に合わせての歌もご用意下さり、共に口ずさんでいる間に、予定の九時になっていました。

宴会後は、すべすべと肌ざわりのよい温泉で心を安らげました。その昔、中辺路の長旅を続けた人々は、この温泉で湯垢離をとって本宮大社に参拝する習わしだったとか。私達は七十余年の垢を洗い落とした気分、健康で参加できた幸福をかみしめました。

入浴後は、各部屋でお互い旧交を温め合い、夜の更けるのも忘れておしゃべりが続いたのでは。...

二日目快晴。植込みのツツジも殆ど満開、新緑に映えて一段と鮮やかでした。車は鬱蒼とした杉林に囲まれて鎮まる本宮大社へ。足腰の痛みも我慢して、百段程の階段を上りつめ 参拝。

帰りは、とれとれ市場で昼食、買物も楽しみ、有田に着いたのは三時頃でした。天候に恵まれ、和氣藹々のゆつたりした同窓会無事終了。次回の元気な再会を約してお別れしました。

(山田久代記)



高女24期

モンペ姿の学生時代

昭和二十年三月二十八日、「海ゆかば」を歌っての卒業式。あれから五十五年、流れるように過ぎ去った歲月かとも。...

毎年の日帰りクラス会にかえ、新世紀を記念して久しぶりに一泊のクラス会を計画してみました。

五月十六・十七両日、白良荘グランドホテルに、恩師、四宮先生(田辺市御在任)をお迎えし、遠くは千葉、そして関西各地より二十五名が出席し、楽しい集いをもちました。

私たちが有田高女24期生一五五名は、四年の夏昭和十九年八月、学徒動員として明石市川崎航空工場に出動しました。

必勝の鉢巻キリリと始めてモンペ姿も勇ましく、飛行機の部品造りに、乙女の情熱?を注いだのでした。忘れもしない、昭和二十年一月十九日、明石工場大空襲。けたたましいサイレンの音、「早く逃げろ! もっと早く走れ!!」四宮先生のどなり声、只々走り去った。工場の門を出て、

寮の防空壕にとび込んだとたん間一髪、大爆音と同時に工場が燃え上がりました。そのどなり声のおかげで、五十余年経た今もこうして生かされている命。



高女24期 白浜 2001. 5. 16・17

あの頃お世話になった先生方お元気でいらっしやいますか。ありがとうございます。...

毎年の集いにも、あの頃が思い出され、泣いたり笑ったり。十六日夜の宴会の初めに、思いがけず浦(旧花畑)先生よりの暖かいメッセージ

<p><b>湯浅店</b> おかざき 酒店 湯浅町湯浅1472-1 TEL. 0737-62-3405 FAX 0737-64-1670</p>	<p>和歌山県推薦優良土産品 金山寺みそ 醸造元 <b>か 垣内みそ店</b> 垣内 欣久 (高15期) 本店 湯浅町別所342-1 TEL.(0737) 63-5855 和歌山店 和歌山市甲45-1 TEL.(073) 462-7003</p>	<p>大切なバイクをどこよりも高く買いとります 下取りもOK! 電話一本で引取り参上 <b>車の車検</b> カワサキオートバイ 有田特約店 <b>榎本モーターズ</b> 湯浅町930 TEL.0737-62-2540</p>	<p>一各種写真撮影・カメラ・アルバム 一フジカラープリントハイスピード仕上 <b>小泉写真店</b> 小泉 博 (高26期) 湯浅町大宮通り TEL.63-5500</p>
--	---	---	---

同窓会報購読希望の方は送料1,000円同封の上、お申込下さい。(事務局)



箕面観光ホテルに集う

梅雨の合間の六月十日(日)新緑にむせぶ箕面観光ホテルにて、耐久高等学校一期生の第二回同窓会を開いた。二年前に湯浅にて五十年振りに集った折、次回は大阪在住者が計画してほしいとの事で、今回それに従った。

当日は、東京・千葉・名古屋からも含め計十六名が集った。二時から記念写真を撮り、十二名の物故者の方へ黙禱をし、世話人を代表して後藤君が挨拶。又その席を借りて、来年に予定されている母校の百五十周年記念事業の京阪神支部一期生代表に藤木(旧姓 玉置)君を選出した。

その後宴会に入った。またたく間に時間が過ぎた。入浴する者と再会を約し、三三五五とホテルを後にした。



川口義澄記

高1期 箕面観光ホテル 2001.6.10

同窓会活動報告

- (2001)
- 2.28 卒業生幹事との懇談 (会長、事務局)
  - 3.1 卒業式 (全日制53回 定時制45回(夜)) …会長
  - 3.7 同窓会役員会
  - 3.8 150周年実行委員会・四者会議 (校長、会長、上野、平井両氏)
  - 3.23 和歌山耐久会再興会議 (校長、会長) 於 アパロームきのくに
  - 3.24 東京支部・高居会長、来校 (校長、会長、上野実行委員長、辻岡先生)
  - 3.31 同窓会幹事会 (学校会議室)・役員会
  - 4.5 教職員異動送別会 (於 横楠) …会長
  - 4.6 大阪国税局(湯浅税務署長、校長、事務長)
  - 4.11 150年実行委員会
  - 4.21 ”
  - 4.26 会報委員会
  - 5.1 県庁教育委員会訪問 (校長、事務長、会長)
  - 5.10 150年実行委員会
  - 5.16 ” (業者に現場説明)
  - 5.29 ”
  - 6.2 ” (造園業者選定)
  - 6.4 ” (造園業者と契約)
  - 6.8 ”
  - 6.9 関西耐久会(南海サウスタワーホテル) 校長、会長
  - 6.28 実行委員会 (三役会) 高校全国大会出場激励金贈呈 (空手・バドミントン(女)・アナウンス部)
  - 7.14 県同窓会総会 (於 田辺) 教頭、辻岡先生、会長
  - 7.18 150年実行委員会
  - 7.27 ” (三役会)
  - 8.3 ” (記念展示部) 於 上野氏宅
  - 8.5 会報委員会 (学校・図書館)
  - 8.28 展示部会初会合

ジと、村井(旧塩崎)先生より自作品の絵画のコピーが全員にプレゼントされました。

感激。

両先生ありがとうございました。

そのあと出ました!!

四宮先生十八番の都々逸。

若々しいお声に、生徒全員拍手カッサイ。それぞれ歌い踊り、なつかしい校歌を合唱しておひらきに。

四宮先生は、息子さんのお嫁さんと可愛らしいお孫さんのお迎えで御帰宅。来年もきつと御出席下さい

とお願いし、お見送りしました。

先生を壊さぬように冷酒注ぐ 嘉子

五十余年の歳月、それぞれ人生の苦楽を経て、古希もちよつびりすぎました。

一日でも長く、心身共に健康で生きていきたいと願うことしきり。

翌日は自由行動。来年もまたきつと会おうと約して、名残りを惜しみつつ一泊二日の集いに暮をおろしました。

良田雪路記

祝 創立150周年

廣濟堂が貴校150周年記念事業のお手伝いをさせていただきます。

株式会社 廣濟堂  
 大阪事業部 データベース部  
 豊中市富田西町2-2-1 TEL. (06) 6855-9240  
 URL: http://www.k.kosaido.co.jp

山下眼科クリニック

有田市新堂弁天46-3  
 ☎0737(83)2957

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後 3:00~6:00	○	○	○	休診	○	休診

野田医院

内科・循環器科



野田倫代

〒643-0111  
 和歌山県有田郡吉備町庄574  
 TEL. (0737) 52-7578  
 http://www.naxnet.or.jp/~non  
 E-mail: non@naxnet.or.jp

2002年 祝 創立150周年 卒業50周年

4期生は丁度W記念の年です。何か、いい企画ありませんか?

耐久高4期同窓会

- ・耐励会 (4期生ゴルフ同好会)
- ・白魚会 ・めだかの会
- ・なにわ会 ・東京グループ
- ・球想会 イロイロアルヨ…

2001.11.1 PM7:00

ピアノ・ジョイントリサイタル2001

有田市民会館大ホール

出演者 堀 友賀・伊藤実知子・井上晶子・佐々木 淑 ゲスト出演 竹中勇記彦  
 主催 コンティヌオ 後援 伏木ピアノ教室



卒業五十年  
(三回卒業)

「松無古今色・竹有上下節」と佐山武夫校長先生直筆の短冊を、卒業証書と共に頂いてより早や半世紀。この意義ある年にふさわしい同級会をと、風薫る五月十九日、平井康雄氏の発案により先ずは母校へ。毎回必ずお元氣でご出席下さる広井隆先生、初めてお出で下さった細川幸雄先生。うれしい限りである。

蒔添校長先生から学校の現況をお聞きし、すっかり国際的になっているのがうらやましい。教頭先生はかつてお教えいただいた立野先生のご長男とは何とも言えぬ思い。「いかなる環境にあっても自分の趣味は続けたいものです。文学も読み、かつ作りたい」と人生の指針をお示し下さった父君の言葉が脳裏をかすめ涙がこぼれる。歓談ののち、校内を見学。コンピュータ室にて係の先生の説明に耳を傾ける。

が私には何も判らない。その後御坊駅よりオーシャンアローに乗り替え、窓外の景色にはかわりなく…。名古屋駅より直行の方々と勝浦駅に合流。三十八名と目的の浦島日の出亭へと向う。十数分の渡船も心良い。

男女交互の宴席もまことにぎやかなれど、二十年前のクラス会よりビデオを収録編集下さった、岩崎好宏氏のご厚意に「みんな若い若い」と歓声。「俺より先に死ぬな」と言われた斉藤先生ほか故人となられた立野先生や級友八名のお姿にしんみり。時効となった初恋の思い出、先生方を困らせた日々等、夜更を知らず次第に若々しくなっていくのが不思議である。



へと、誰かれなく売店の杖を頼りに登りはじめたのが、いとおかしくもあり悲しくもある。橋杭岩より新架橋にて申本大島へ、海金剛の絶景に酔いながら全島をくまなくめぐり…。

(矢櫃 記)

2001年のネバーランド

高校35期生 江川 寿紀

スピルバーグの駄作で「フック」という映画がある。年老いたピーターパンがもう一度フック船長と闘うという他愛無い話である。

2001年1月2日、湯浅「花菘」において耐久高校35期生を中心としたロックライブがこっそり行われたが、僕らはまさに年老いたピーターパンそのものだった。みんな仕事や家族の為に果たすべき山積みの事柄に追われ、年相応に疲弊し、金属疲労を起こしている。その中で時間を捻出し、上野山氏はインターネットを駆使した宣伝活動、坂本氏と清水氏は会場の手配と前売りに奔走してくれた。そして演奏当日を迎えた各々の顔は、卒業してから過ぎた年月を忘れさせてくれる程昔のままだった。無理やり来てもらった同窓生や先輩方の暖かいフォローのおかげでなんとか企画は無事に終わった。打ち上げで飲んだバーボンのうまかったこと。(高

校時代はホワイトだったよなあとか…。もう時効だからいいでしょう?) お嬢さんを連れて見に来てくれた美術の中井先生が「おまんらええのう、いつまでも遊べて」と懐かしの髭面で声をかけてくれた。そう、その瞬間、僕らは疲れた30男ではなく、ネバーランドに帰ってきたピーターパンだった。明日からまた雑多な日常に埋もれてしまうにしてもだ。

(この場で改めてご協力いただいた皆さん、見に来てくれた皆さんにお礼申し上げます。)



造園・土木・建築・御影石・大理石工事

株式会社 林造園石材

本社 石田郡吉備町角132 TEL.(0737)52-7770 FAX (0737)52-7277  
和歌山営業所 和歌山市松江東4丁目1-9 TEL.(073)454-1630 FAX (073)454-1630



総合景観資材卸商

株式会社 林

和歌山県石田郡吉備町角132-3  
TEL.(0737)53-2366 FAX (0737)53-2355

取扱品目  
環境石材 FRP製品  
舗装材料 アルミ製品  
土木資材 造園資材  
外構材料 遊具  
建築用材 遊歩機  
建築用資材 その他

創立150周年については、何なりと事務局の方にお問合わせ下さい。(TEL.0737-62-4148)

高校7期

# 卒業以来最高八十六名が参加 高第七期（昭和三十年卒）

私たちが耐久高7期同窓会は、A組からE組までの幹事が持ち回り世話役となり、隔年に同窓会を開催しています。二十一世紀の幕あけ、二〇〇一年の開催はC組が世話役で一年前から準備、桜花盛りの花祭り四月八日に、紀伊水道を眼下に見おろす有田市矢櫃の有田観光ホテルにおいて、卒業以来最多数の八十六名(卒業生は二〇〇名)が出席、大盛会の同窓会となった。はじめに校歌斉唱と物故者への黙祷、続いて宮井慶三代代表幹事と石関淳司幹事より、来年の耐久百五十周年記念事業についての協力の訴えがあり、世話役代表 出井一郎氏より経過報告のあと宴会に入った。

紀州は何といつても海の国、郷土料理の海鮮料理に舌づつみを打ちながらの交歓会。大広間一杯に近況報告や思い出話の花咲かり。

その間ステージより、「ふるさと報告」として金森光広氏より「湯浅町の町づくり報告」、野球部OBの前田道治氏より自作の耐久高野球部の応援歌の初披露。森初子氏の舞踊発表など、次々アトラクションがあり、あつという間の三時間が過ぎる。最後に次回の開催世

話役D組幹事へのバトンタッチが行われ、全員の再会を約して散会した。

私たちが同窓生もいよいよ六十五才の高齢者となった。二十一世紀のどこまで生きられるか。耐久同窓生として相互の結びつきを強めながら、ふるさととの各々の町づくりと母校の発展に「老人力」パワーを発揮して行きたいものです。

(戒 和男記)



高7期 有田観光ホテル 2001. 4. 8

150周年を記念しての同窓会・クラス会

—— 私たちも協力します。 ——

<p>●クエ・カニ・活魚料理 ●アルカリ性単純温泉 ◆乗合船・仕立て船</p> <p>TEL. 六三二一五〇〇</p> <p>旅館 千代の家 大原 裕 高14期</p>	<p>高校に近いお宿（大温泉） —— 湯浅城公園 ——</p> <p>国民宿舎 <b>湯浅城</b></p> <p>和歌山県有田郡湯浅町青木75番地 TEL (0737) 63-6688(代)</p>	<p>・新鮮な魚・貝類に恵まれたお宿 ・各種会合・同窓会に最適！</p> <p><b>シーサイド松宮</b></p> <p>松宮 功 (高11期)</p> <p>湯浅町湯浅3200(南浜埋立地) TEL. 0737-62-2670 FAX. 0737-64-1601</p>	<p><b>割烹美屋井</b> 湯浅町2922 TEL.63-3640</p> <p>仕出し <b>宮井料理店</b> 湯浅町753 TEL.62-2207</p> <p>宮井 慶三 (高7期)</p>
<p>同窓会のご宿泊・ご宴会は有田川温泉へ!!</p> <p><b>有田川温泉 鮎茶屋</b></p> <p>和歌山県・西有田県立自然公園 日本観光旅館</p> <p>和歌山県有田郡湯浅町 日本観光旅館 <b>高よし</b> パークホテル</p> <p>和歌山県有田郡高田 TEL.(0737)83-5056(代) FAX.(0737)82-5488</p>		<p><b>幹事必見!!</b></p> <p>天然温泉・露天風呂 名物ジャングル風呂</p> <p><b>280名収容大宴会場</b></p> <p>紀州有田温泉 <b>有田観光ホテル</b></p> <p>ご一報をお待ち申し上げております... <b>TEL.0737-82-5201(代)</b></p>	
<p>和歌山県 西有田県立自然公園 日本観光旅館</p> <p><b>高よし</b> パークホテル</p> <p>和歌山県有田郡高田 TEL.(0737)83-5056(代) FAX.(0737)82-5488</p>	<p>日本料理 <b>横楠</b></p> <p>茶売 亘 (高17期) 湯浅町かじや町 Tel.62-2377</p>	<p>coffee &amp; restaurant <b>DONKEY</b></p> <p>湯浅町駅前通商店街 TEL.62-3135 <b>ドンキー</b></p> <p>荒磯の美味 活魚の <b>魚恒</b></p> <p>前田道治 (高7期) 湯浅町南かじや町 TEL.0737-63-3371 FAX.0737-63-3373</p>	<p>国内旅行はトップツアー 海外旅行はジャルパック</p> <p>旅行(国内・国外)のお申込みは</p> <p><b>東急観光</b></p> <p>和歌山支店 Tel.073-425-3211 担当 戸石昌男 (高17期) 紀伊田辺支店 Tel.0739-24-2800</p>

# 絆 地学部の巻



COD、アンモニウムイオン濃度、硝酸イオン濃度、亜硝酸イオン濃度の五種類について調査しました。また、その成果を二〇〇一年三月十三日に和歌山大学システム工学部で行われた「かんでん第三回学生自主研究コンクール」で発表し、「調査研究賞」を受賞しました。

本校の地学部は「地学」と言う分野を「環境」と「防災」の科学、とりわけ「環境の科学」という観点で捉え、先輩の意志を継承しつつ調査研究活動を行ってきました。特に、一九九九年から二〇〇〇年度にかけては、地域の環境を調べることをテーマの一つとして湯浅町山田川の水質調査を行ってきました。

活動内容としては、山田川の上流域から下流域まで約三十地点において、河川水のpH、

も大きく受けることが予想されます。今後は調査地点をもう少し絞り込み、山田川の水質の時間的・季節的な変動について、調査研究を継続していきたいと考えています。

顧問 上山智弘

## クラブ受賞歴

- S 53 第22回日本学生科学賞最優秀賞
- S 54 第23回日本学生科学賞最優秀賞
- S 54 高橋克己博士顕彰会賞
- S 55 第24回日本学生科学賞最優秀賞
- S 58 第27回日本学生科学賞最優秀賞
- S 62 第31回日本学生科学賞最優秀賞
- H 4 第36回日本学生科学賞知事賞



同窓  
川柳

有本 充 (高4期)

## 歌壇

- ・晩酌の 増量掛け合う 退院日
- ・義理見舞 揺すり起こして 顔見させ
- 下野 香代 (高20期)
- ・青々と 日増しに太くたくましく  
根付く早苗に 風吹き渡る
- ・在りし日に 漬けてくれたる らっきょうの  
一つぶの味 母を忘れず  
中内 京子 (高15期)
- ・遠つ国の 人と語らふ 子の声を  
闇に聞きつつ 螢舞ひまふ
- ・ひたすらに 子のサッカーを追ひし日や  
今蘇る 残照の中

# Echo!

・随分と世代が違っても耐久で学んだ者には共通する何かがあり、それは、校訓である「真・健・美」の精神だろう。一五〇周年事業に際しては、各学年男女二名づつの世話人を指名して貰い、全地域のOB・Gをまとめて頂いたら徹底するのではなからうか。耐久を語る時、梧陵・容所・宝山先生は欠かせないと思います。

大きな節目と母校の更なる発展のため  
に……!

(浪速のS・M)

・会報をお送り頂き有難う。百五十周年事業の企画にお骨折り下さって大変ご苦労様です。私たちにお手伝い出来る事がありましたら、何なりと申しつけて下さい。(大阪S・A)

## ご支援の皆様へ

会報へのご理解とご献金に心よりの感謝を捧げ、紙面を借りて御礼を申し上げます。

- ・横山喬次様 (旧中39回)
- ・高校7回同期会様
- ・高女25回同期会様
- ・高女22回 (ときじく会様)
- ・旧中38回同期会様

## 『編集後記』

平成十四年(二〇〇二年)十一月二日の創立一五〇周年記念式典(於 学校体育館)に向けて実行委員会も組織され、また関東・関西・和歌山耐久会が結成され、いよいよ各部・各会が動き始めました。高校も七月下旬より東半分の内装工事が始まり(残りの西半分は来年七月下旬より)、また記念事業のひとつである前庭の整備工事もこの八月より始まりました。いま高校はハード面で大きな変化の真最中です。新世紀に向けソフト面でも大きな飛躍が遂げられるよう願わずにはいられません。

この「会報」もさらにバージョンアップを心がけ、一人でも多くの方々に届けたい。会員相互の絆を強めるべく、編集委員一同頑張っていくと考えております。

なお同窓会名簿・会報に関する問い合わせ(名簿・会報送付依頼、同窓会情報提供等)は、遠慮なく事務局までいただきます。多忙中、執筆・投稿として取材に協力していただいた方々、またこの厳しい不況下で賛助広告を快く引き受けて下さった方々に衷心より感謝申し上げます。